



村岡県政が本格始動！

山口県議会6月定例会からの報告

2月に誕生した村岡県政が、いよいよ向こう4年間の県政運営指針「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」の骨子案を示し、本格的にスタート。この骨子案に沿って直ちに取り組むべき施策や公共事業の追加確保、産業戦略を一層推進する事業などが盛り込まれた6月補正予算も、333億円と異例の大きさです。

「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」に掲げられた5つの未来開拓戦略

- 産業活力創造戦略 ●地域活力創造戦略 ●人材活力創造戦略
- 安心・安全確保戦略 ●行財政基盤強化戦略

長門地域に関連する主な県事業（抜粋）

子育て

社会全体で子どもや子育て家庭を支えよう！



県産木材や再生可能エネルギーの地元施設導入を！

油谷小新校舎に県産木材を200m³使用！「油谷子どもセンター」や「市CATV放送センター」には太陽光発電、地熱空調設備など再生可能エネルギーを導入。



環境



大河ドラマ「花燃ゆ」での観光需要拡大に向け、PRやおもてなしの充実を進める市町を支援！長門市では権藤夫妻・維新150年関連の企画展や商品開発。

暮らし

JR渋木駅の待合環境改善を！



通学や観光での交通結節点であり、ほたる祭りの拠点ともなるJR渋木駅の老朽トイレを水洗化へ。

地域づくり

農山漁村に元気と活力を！



県職員による「中山間地域応援隊」に加え、大学生などを地域づくりに投入！東後畑での自然栽培米刈取りや農業ファッショニングショには安倍昭恵総理夫人も参加。

福祉

深川小に萩総合支援学校小・中学部の「分教室」



市外の総合支援学校に通つておられる児童生徒に朗報！来年4月、深川小に萩総合支援学校の分教室が開設。

道路

いのちをつなぎ、九州・東アジア経済圏と地場産業を結ぶ道路の早期整備を！

山陰道（国道491号線バイパス）

市内随所で工事用道路の整備が始っている長さ5.5kmの「長門・俵山道路」。

山陰道の県内総延長115kmのうち未着手率が82%という現状を受け、山陰道建設促進県議連は俵山一下関間、萩一益田間の一帯も早い事業化と全線の早期完成を訴え、国へ要望活動を続けています。



県道38号線（美祢油谷線）

油谷・坂根間が整備された国道491号線から俵山側へ分岐し、七重地区経由大羽山交差点までの全2車線化が、平成30年度供用開始に向け進行中。完成すれば、市内はもちろん油谷・日置地区から下関・九州への接続向上とともに、産業道路としての活用が見込まれます。



半島地域の不安解消に向けた道路・橋りょう整備を！

県道283号線（青海島線）

半島地域の災害時や救急時における不安解消に向け、青海大橋の長寿命化が不可欠。下り線は築48年に及ぶほか、塩害による消耗、船舶との接触事故も発生。万一の場合にも安心して市内につながるよう、半島地域の暮らしを支える社会基盤整備に引き続き尽力します。

木屋川ダム嵩上事業と県道34号線（下関長門線）

木屋川ダムの嵩上げは10月から環境調査がスタート。嵩上げに伴う南北2県道の付け替えや山陰道・俵山一下関間整備と同時施工になる可能性があるほか、俵山地区の世帯も嵩上げに関係するため、適切な周辺道路整備が進展するよう皆様の声を引き続き届けます。



農林水産

農林水産副委員長として各地を訪ね 「ながと成長戦略」をバックアップ！

需要に応じた園芸作物生産体制構築を！



農業の生産性向上を目指し、担い手への利用集積を目的とする農地中間管理機構補助事業を活用して、長門市では「一市一農場構想」が進行中です。一方で、需要のある園芸作物の生産振興も重要。山陽小野田市の(有)グリーンファームでは、JAや市場と連絡を密にする「出口」を見据えた経営により、ハウスでの園芸作物の生産拡大や、若者の雇用拡大につなげています。こうした手法をながと成長戦略に活かすとともに、県内に拡げられるよう努めます。

アワビ稚苗生産能力の強化！

県外海第二栽培漁業センターに紫外線滅菌装置が増設され、県内での需要に対応。このアワビ稚貝が黄波戸地区的施設でも中間育成。



危険ため池パトロール

豪雨災害等での決壊に備え、油谷地区の滝がため池や桂河内ため池、日置地区的神田ため池を改修中。日置地区菅無田ため池の点検を視察。

漁業者の所得向上へ！

漁業者グループ「新鮮田布施」は、6次産業化の取組を、39歳のニューフィッシュナーを先頭に、地元漁師6組で進めています。その取り組みは全国漁業者意見発表会で農林水産大臣賞を受賞。地魚加工と積極的外販により、漁業者の所得向上に繋がっています。漁業者がこうして、懸命に汗を流す取り組みをながと成長戦略の中で活用することはもちろん、県内に拡げられるよう努めます。



県議会9月定例会からの報告

9月補正予算は、岩国地域での豪雨災害復旧対策を中心に35.8億円。今夏、知事自らが県内19地区へ出向き、開催された「どこでもトーク」での県民の皆様のご意見も踏まえ、「未来開拓チャレンジプラン」の素案が示されました。観光振興に関する条例を来年度末までに制定することや、県産農林水産物をPRする「ぶちうま売込隊」の結成など中山間地域の産業まで広く配慮する内容が盛り込まれています。私は、「未来開拓チャレンジプラン」に沿って、長門地域で県事業が積極展開されるよう、全力を尽くします。